

## 令和6年海岸功労者一覧

功績区分	事 項				推薦者
	番号	都道府県	個人・団体	氏名・団体名	
海岸愛護	1	北海道室蘭市	団体	室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会	北海道
	2	茨城県神栖市	団体	三国屋建設株式会社	茨城県
	3	茨城県鹿嶋市	団体	日本製鉄株式会社東日本製鉄所鹿島地区	
	4	静岡県静岡市	団体	静岡・海辺づくりの会	静岡県
	5	山口県宇部市	団体	西岐波地区コミュニティ推進協議会	山口県
	6	大分県佐伯市	団体	つな★ばんプロジェクト	大分県
	7	鹿児島県南さつま市	団体	万世校区元気づくり委員会	鹿児島県
	8	神奈川県横浜市	団体	認定NPO法人エバラスティング・ネイチャー(ELNA:エルナ)	東北地方整備局
	9	高知県土佐市	団体	株式会社龍生	四国地方整備局
海岸事業に関する研究	10	茨城県水戸市	個人	三村 信男 (茨城大学 名誉教授)	茨城県
	11	京都府京都市	個人	磯部 雅彦 (高知工科大学名誉教授・東京大学名誉教授)	四国地方整備局
都道府県（7団体 1個人） 地方整備局等（2団体 1個人） 合計（9団体・2個人） 11件					

## 海岸功労者功績調書

### 1-3. 海岸愛護（9団体）

(敬称略)

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
1	北海道	団体	むろらん い タンキ はまなりすな まもるかい 室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会 (会長 菊地 富子)

#### (功績概要)

室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会は、北海道室蘭市の太平洋側に面するイタンキ浜において、海岸の清掃活動を行っている団体である。この団体は、同地に現存する希少な「鳴り砂」を保全するため、平成9年の発足以来、25年余りにわたり継続した活動を行っており、本年4月1日現在で会員数56名を数える。同会では、鳴り砂の保全のため地道な海岸清掃活動を行うとともに、工業都市である室蘭において、鳴り砂が現存する希少性や、海岸環境保全の必要性について広く内外に周知する活動を継続し、地元の小中学校をはじめとする各種教育機関、民間団体と連携協力した出前講座や清掃活動等も展開し、鳴り砂が現存する海岸環境の保全と愛護思想の普及に多年にわたり尽力しており、その功績は極めて顕著である。

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
2	茨城県	団体	みくに やけんせつ かぶしきがいしゃ 三国屋建設 株式会社 (代表取締役 和田 英司)

#### (功績概要)

三国屋建設株式会社は、鹿島港開港と同時期の昭和47年に設立して以来、海上交通の要であり、海の難所でもある鹿島灘沿岸周辺において、海難船舶の救助・撤去・海洋汚染防止などの業務を実施し、港湾や海岸保全施設の建設・維持管理に精通した「海の職人集団」として全国的に広く認知されている企業である。平成24年度からは、海岸漂流物が数多く漂着する神栖海岸のボランティア清掃活動を主体的に実施しており、日川浜海水浴場の良好な海岸環境の維持に寄与している。

番号	都道府県名	個人又は団体別	氏名又は団体名
3	茨城県	団体	にほんせいいつかぶしきがいしゃ ひがしにほんせいいつじょ かしまちく 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 鹿島地区 (執行役員東日本製鉄所副所長 若松 賢太郎)

#### (功績概要)

日本製鉄株式会社東日本製鉄所鹿島地区は、前身である住友金属鹿島製鉄所が鹿島港開港と同時期の昭和46年に操業を開始して以来、環境にやさしく持続して発展する環境保全型社会の構築に向け、地域社会と環境保全の視点を踏まえた事業活動を推進してきた。現在実施している海岸清掃活動は、昭和59年に会社のボランティア活動の一環として、下津海岸の清掃を始めたことをきっかけに、今では鹿嶋市内全域の海岸で清掃を行うまでに発展してきており、長年行ってきた海岸愛護活動の功績は極めて顕著である。

番号	都道府県名	個人又は団体別	氏名又は団体名
4	静岡県	団体	しづおか　うみべづくりの会 (会長 杉本 淳雄)

(功績概要)

静岡・海辺づくりの会は、県と静岡市の呼び掛けにより平成 18 年に「海辺づくり会議」を発足したのち、平成 19 年に地域住民や企業等により設立された。平成 19 年から 16 年間にわたり、毎年静岡海岸の清掃活動を実施している。自治会や企業など広範囲に呼び掛け、毎回 100 人前後の方々が参加しており、海岸愛護精神の普及や海岸の美化保全に実績を挙げている。

また、平成 20 年度には、環境美化活動と自然観察会などの楽しい活動の組み合わせが評価され、市の「協働パイロット事業」に採用され、次世代に残る美しい自然と人が集まる海辺づくりを目指し、海岸清掃だけでなく、花壇整備・観察会・レクリエーションイベント等、多彩な活動を展開している。

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
5	山口県	団体	にしきわちくこみゅにていすいしんきょううきかい 西岐波地区コミュニティ推進協議会 (会長 藤高 和久)

(功績概要)

西岐波コミュニティ推進協議会は、昭和 56 年 4 月に設立し西岐波地区の活性化と住みよい地域づくりを目的として活動している。特に、海の路ネットワーク推進協議会(国土交通省)主催のリフレッシュ瀬戸内海岸清掃には、開催当初の平成 6 年から参加しており、西岐波地区の団体に参加を呼びかけ、毎年多くの住民が清掃活動を行い、令和 5 年度は約 800 人の地域住民の参加があった。また、地元の小中学校にもコミュニティ推進協議会から参加を呼びかけ、児童・生徒が海岸清掃に関わることで、海の環境問題を身近なものとしてとらえている。

なお、毎年 7 月には清掃した砂浜を活用して、フラダンスフェスティバルを行っており、市内外から多くのフラダンスマッチングチームが参加し、地域住民の交流の場や文化の向上にも貢献している。

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
6	大分県	団体	つな★ばんプロジェクト (代表 水沼 小百合)

(功績概要)

つな★ばんプロジェクトは、番匠川を九州一の清流にしたいと、平成 18 年に設立以降、定期的に河口付近にある西浜海岸の清掃と海岸整備を行い、市民に憩いの場を提供するとともに、環境活動を取り入れたスポーツイベントや精霊船の供養を行うなど地域に根ざした活動を展開している。

また、市内を流れる臼杵川においては、地元の小学校と連携して、ホタルの飼育、フジバカマの植栽を行うなど河川環境の保全・景観づくりに貢献している。コロナ禍においても毎月、清掃活動を実施していた。

番号	都道府県名	個人又は団体別	氏名又は団体名
7	鹿児島県	団体	万世校区元気づくり委員会 (会長 有馬 満信)

(功績概要)

万世校区元気づくり委員会は、平成18年に設立以降、校区の問題解決や発展を目標として活動しており、自治会・公民館及び市と連携を図りながら、地域住民の交流活動を通じて元気で活力のある校区づくりを推進している団体である。日本三大砂丘の一つである「吹上浜」の新川海岸の清掃活動を20年以上継続して実施しており、毎年多くの住民が参加し、地域海岸の環境美化の意識向上に多大な貢献をしている。

番号	都道府県名	個人又は団体別	氏名又は団体名
8	神奈川県	団体	認定 NPO 法人工バーラスティング・ネイチャー (代表 大島 典子 )

(功績概要)

認定 NPO 法人工バーラスティング・ネイチャーは、平成11年に設立され、平成25年から仙台湾南部海岸における直轄海岸保全施設整備事業や災害復旧事業の支障となり得るウミガメの漂着・対処方法や判別の作業等を 10 年以上にわたって専門的な知見で活動・技術支援をいただいている。この活動・技術支援は、仙台湾南部海岸の良好な海岸環境の維持（漂着物の大半が現地で貴重な砂浜に打ち上がるため、植生の生育・臭気・景観の悪化等）に寄与することに加え、得られた知見を国際会議で発表する等の活動は海岸愛護意識の向上に大きく貢献するとともに、模範となるものである。

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
9	高知県	団体	株式会社 龍生 (代表取締役社長 近澤 克昌)

(功績概要)

株式会社龍生は、昭和48年の創業以来、土木・港湾・浚渫・法面保護の分野において、幅広く建設業を展開している。企業としての社会貢献活動の一環として、道路や地域の清掃ボランティア活動にも積極的に参画しており、高知海岸においても、平成22年1月より国土交通省主催の「高知海岸パートナーシップ」の認定団体となり、現在まで13年以上にわたり、国土交通省直轄工事区間新居海岸において毎年5回程度、約6名で清掃活動を行っている。新居海岸は、西側の横波スカイラインへと通じる県道須崎仁ノ線が走り、一年を通じて美しい海岸線を楽しむことができ、高知龍馬マラソン大会のコースにもなっている。高知龍馬マラソン大会前に清掃を行うことで、高知海岸の美しい海岸線がマスコミ等により PR され、魅力的な高知海岸の情報発信に大きく貢献をしている。

## 2-2. 海岸事業に関する研究（2個人）

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
10	茨城県	個人	みむら のぶお 三村 信男 (いばらきだいがく めいじょうじゅ 茨城大学 名誉教授)

### (功績概要)

三村信男氏は、侵食対策をはじめ海岸環境保全や沿岸域管理に関する研究を行い、海岸工学の新分野開拓に尽力した。さらに、海面上昇・気候変動の影響と対策に関する研究で先駆的な成果をあげた。とくに、国連の「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」に招聘され、第2次～第6次評価報告書の「沿岸域」「小島嶼国」「適応策の計画と実行」などの章における主執筆者、総括主執筆者等として世界的に大きな影響力のある報告書のとりまとめに尽力した（30年以上）。また、国内外の様々な委員会等に参画し、気候変動適応策の推進に貢献している。これらの成果は、1999年の海岸法改正や近年の気候変動を踏まえた海岸計画など我が国の海岸事業の進展に大きく寄与するものである。

茨城県においては、茨城沿岸海岸保全基本計画検討委員会や津波浸水想定検討委員会、茨城沿岸津波対策検討委員会、茨城沿岸海岸保全計画外力検討会の委員長・座長を務め、茨城沿岸海岸の津波対策や高潮侵食対策等に関する計画から工事までの一連の検討に大きく貢献した。蓄積されたデータに基づく科学的な事象把握・解析に行政的観点を加え、海岸事業者と学識経験者・関係者の調整を図りながら、設計津波や県下統一の新たな計画外力を設定するなど、茨城県の海岸事業の礎を築き上げることに貢献した。

番号	都道府県	個人又は団体別	氏名又は団体名
11	京都府	個人	いそべ まさひこ 磯部 雅彦 (こうちこうかだいがく めいじょうじゅ とうきょうだいがく めいじょうじゅ 高知工科大学 名誉教授・東京大学 名誉教授)

### (功績概要)

磯部雅彦氏は、昭和52年に東京大学修士課程を修了されてから、東京大学、高知工科大学等で長きに渡り海岸工学の分野等の研究や海岸事業への指導に精力的に取り組まれた。研究面では、波浪の方向スペクトルの推定など、基礎理論に基づく新たな沿岸波浪の解析手法の創出に貢献された。海岸事業への貢献に関しては、海岸省庁による「海岸管理検討委員会（H10年度）」の委員として提言のとりまとめに尽力され、平成11年の海岸法改正に繋がった。また、「海岸における津波対策検討委員会（H23年度）」「海岸管理のあり方検討委員会（H25年度）」「高潮浸水想定区域図に関する検討会（H26年度～H27年度）（R2年度）」などの座長等として、全国の海岸行政の推進に多大なる功績を上げている。さらに、「高知海岸保全技術検討委員会（H25年度～H29年度）」「高知海岸保全フォローアップ委員会（H30年度～）」「高知海岸・県道春野赤岡線管理技術検討委員会（H30年度～R1年度）」や令和4年9月から開催している「気候変動を踏まえた土佐湾沿岸海岸保全施設技術検討会」の議長として、海岸保全施設整備事業の内容や気候変動適応策について、海岸工学の技術的見地からの提言・助言をいただいており、高知海岸における海岸保全施設事業の推進に尽力された。